

カワスミ カリウム吸着フィルター使用方法①

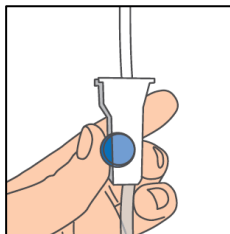
KPF-4 大容量用（4単位用）：推奨処理流速 50mL/分以下、プライミングボリューム ≒42mL

KPF-1 小容量用（1単位用）：推奨処理流速 30mL/分以下、プライミングボリューム ≒25mL

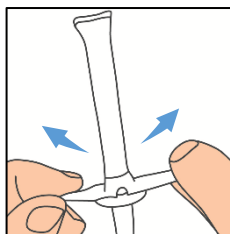
【使用準備】

（生理食塩液によるプライミング）

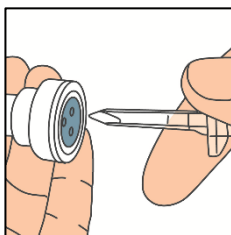
- ① ローラーランプを完全に閉じる。



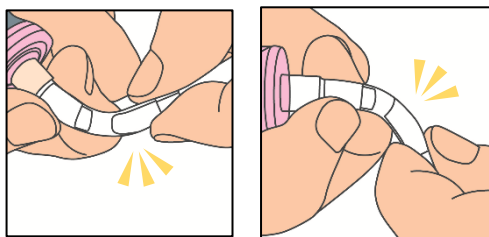
- ② 生理食塩液をガートル台に吊り下げ、本品のプラスチック針のキャップのタブを左右に引き、キャップの根元を引き裂いてキャップを外す。



- ③ 本品のプラスチック針を生理食塩液に接続する

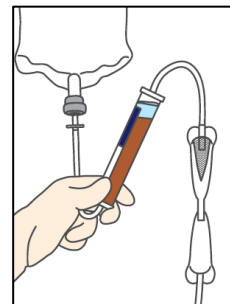


- ④ フィルター下の連通ピースを左右に折り、完全に開通する。



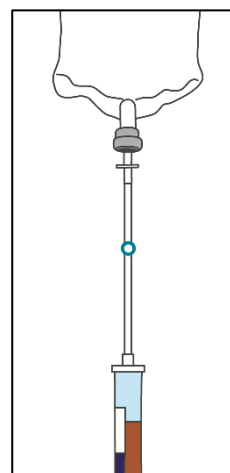
（フィルターの洗浄）

- ⑤ カラムを逆さにし、カラム内のエアを上に集める。
⑥ ローラーランプを徐々に開き、カラム内のエアを追い出す。



- ⑦ ローラーランプを閉じ、カラムの向きを元に戻す。

- ⑧ カラム内の樹脂にエアをかみ込んでいないことを確認し生理食塩液を流す。一連の操作において、**200mL 以上の生理食塩液**を必ず流す。



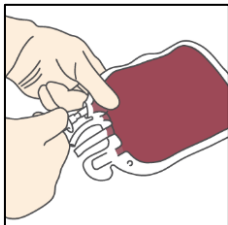
- ⑨ ローラーランプを閉じる。フィルター上部まで十分に生理食塩液が入っていることを確認する。

カワスミ カリウム吸着フィルター使用方法②

ベッドサイド法

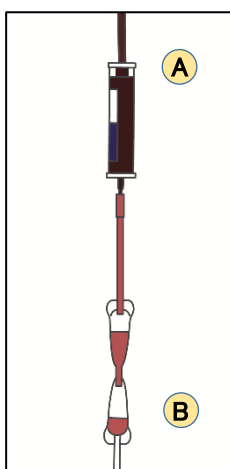
【使用開始】

- ⑩ プライミングが終了したらプラスチック瓶針を生理食塩液のゴム栓から抜き、血液製剤の輸血口を開いて穿刺する。

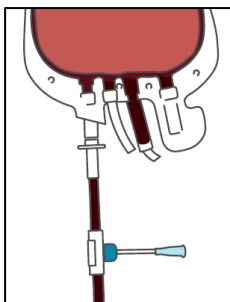


- ⑪ プライミングの生理食塩液を捨てながら、血液製剤がセットを満たすことを確認する。以降は一般の輸血と同様の手技で輸血を開始する。

- ※ 最初に流出する血液は希釈されています。希釈の影響を避ける場合は廃棄してください。



- ⑫ 【使用終了】輸血終了時にはフィルター内の残血を回収するためにゴムボタンに通気針を穿刺し、清浄なエアを導入する。



【処理血液量についての注意点】

製品仕様毎に規定された単位数以内で使用してください。

KPF-1：濃厚赤血球製剤 1 単位以内

KPF-4：濃厚赤血球製剤 4 単位以内

【血液処理速度についての注意点】

十分な吸着性能を得る為には製品仕様毎に規定された処理速度以内で使用してください。

KPF-1：30mL/min 以下

KPF-4：50mL/min 以下

【赤血球製剤の回収時の注意点】

- 血液バッグ内の血液が空になり、回路内に血液が残る場合があります。
- その場合の血液回収には製品上部のゴムボタンに“通気針”を刺し、清浄な空気により赤血球製剤を回収してください。
- 決して生理食塩液等で洗浄・回収しないでください。吸着したカリウムイオンが急激に溶出するおそれがあります。

使用後、生理食塩液による回収は行わないこと

※参考

セットから最初に流出する血液は生理食塩液で希釈されています。希釈の影響を避ける場合は、以下の容量を流すことで初期 Ht の 90%程度まで回復します。

KPF-1：60mL（生理食塩液を含む量）

KPF-4：65mL（生理食塩液を含む量）

上図の A と B の血液の色の濃さが同じ位となるのを目安としてください。